

- ①福島水素エネルギー研究フィールド／FH2R
- ②そうま IHI グリーンエネルギーセンター
- ③道の駅なみえ内 純水素燃料電池

2050年までにカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現のため、大きな貢献が期待されているのが「水素」であり、中でも「グリーン水素」が注目されています。今回、視察をする施設に代表されるように、福島県では全国に先駆けた取り組みが多数実施されています。第3回水素分科会では、身近にできた水素関連施設を視察します。福島県の今を知る上でも大変有意義な機会ですので、会員の皆様の参加をお待ちしております。



FH2R (出典：NEDO HP)：再生可能エネルギーを利用した世界最大級となる10MWの水電解造装置を備えた水素製造施設。製造された水素は、定置型燃料電池向けの発電用途、燃料電池車や燃料電池バス向けのモビリティ用途などの実証試験に使用されています。

そうま IHI グリーンエネルギーセンター (出典：IHI HP)：相馬市において太陽光発電電力の地産地消の実現と、地域振興・発展に寄与することを目的として開設された施設。これまで、スマートコミュニティ事業をはじめ、CO₂フリー水素を活用する研究も推進しています。

H2Rex：水素を直接使うことによってCO₂フリーで発電する「純水素燃料電池システム」。道の駅なみえに設置、活用されています。見学自由。

概要

- 1 集合場所** **A：バス利用** 郡山駅西口(7:00集合、7:10出発、17:25帰着予定)
福島駅西口(8:10集合、8:25出発、16:10帰着予定)
B：現地集合 (10:20集合、FH2R駐車場) ※FH2Rのみ
- 2 行程** ①福島水素エネルギー研究フィールド／FH2R(双葉郡浪江町棚塩) 案内あり
②そうま IHI グリーンエネルギーセンター(相馬市光陽二丁目1-1) 案内あり
③道の駅なみえ(浪江町大字幾世橋字知命寺60) 敷地内に常設・自由見学・昼食
A：②10:00～11:00 ③12:00～12:45 ①13:00～14:00
B：①10:30～11:30

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、発熱や風邪の症状がある方や体調不良の方は参加自粛にご協力願います。

- 3 参加定員** A：15名、B：19名(先着順、定員になり次第終了)
※各社1名までの申し込みとさせていただきます。

- 4 参加費用** 2,000円(Aのみ)

※A：昼食は「道の駅なみえ」にて各自お取りいただくか、あらかじめご準備ください。

申込方法

「参加申込書」に必要事項を記入し、令和4年1月6日(木)までにメールでお申し込みください。
なお、研究会未加入の方は、研究会に入会の上お申し込みください。

お問い合わせ

〒963-0215 福島県郡山市待池台一丁目12番地 福島県ハイテクプラザ内
(公財)福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシーふくしま
tel.024-963-0121 E-mail: e.a.fukushima@f-open.or.jp





送付先 エネルギー・エージェンシーふくしま 行き
E-mail : e.a.fukushima@f-open.or.jp

**福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会
令和3年度 第3回水素分科会 参加申込書**

1	会社・団体名、所属		A:郡山駅西口
	役職	名前	A:福島駅西口
	携帯電話番号	E-mail	B:現地集合

※ 集合場所を○で囲んでください。

※ 分科会では、参加者相互の交流を目的として、氏名、会社・団体名、所属・役職までを一覧にして参加者へお配りしますので、あらかじめ御了承ください。

申込締切：令和4年1月6日（木）

◆ 集合場所 ◆

① 郡山駅西口（集合時間 A・7：00）

② 福島駅西口（集合時間 A・8：10）

